

## コミュニティサイクル社会実験の概要

### (1) 実施主体

社会実験は、環境省（環境負荷の軽減につながる先端技術の開発促進）、国土交通省（低炭素社会の実現に向け、自転車施策の普及・推進）、広島市（自転車都市ひろしまの実現に向けたコミュニティサイクル施策の検証、放置自転車対策の研究）の三者が主体となって実施します。

**実施主体：環境省・国土交通省・広島市**

### (2) 役割分担

社会実験においては、それぞれの目的に応じた役割を担うこととし、以下のとおりとします。

環境省	コミュニティサイクルシステム・機器の開発※ 機器運営試験（資機材・運営含む）の実施※
国土交通省	各種データの分析、ノウハウの提供
広島市	サイクルポートの設置場所の確保（配置の検討、歩道等の公共空間の利用） 地元関係者・関係機関との協議調整

※システムや機器の開発、設置・運営に係る実務は、環境省地球温暖化対策技術開発等事業の補助事業者が行う。（システムや機器の調達や運営に係る費用は、当該補助事業から支出される）

### (3) 実施期間

昨年度の社会実験の結果（短期間では市民や利用者への周知・浸透が不十分）を踏まえ、実験期間を長期間に設定します。（環境省地球温暖化対策技術開発等事業の期間である平成24年度末までを予定）

**平成23年（2011年）2月から約2年間（予定）**

### (4) 管理運営方式

昨年度の社会実験の結果（手続きが煩雑、人件費の圧縮が不可欠）を踏まえ、ICTを活用した無人管理型とします。

**ICTを活用した無人管理型・24時間稼働**



<サイクルポートの写真（名古屋市社会実験より）>

### (5) 利用料金・利用方法

社会実験は有料で実施します。利用にあたっては、料金決済用のクレジットカードなどを事前に1度登録しておき、貸出の際に、サイクルポートのラックに備え付けられたカードリーダーにICカード会員証をかざして利用します。料金設定等の詳細については、他都市の事例等を踏まえ決定します。

**有料（クレジットカード決済）・ICカード会員証**

### (6) サイクルポートの配置

サイクルポートは、昨年度の社会実験の配置を基本に、自転車走行空間整備計画（策定中）の重点整備路線を踏まえ、10か所程度、配置する予定です。また、社会実験が長期であることから、実験期間中、利用者ニーズなどを踏まえ、サイクルポートの配置や規模の調整を柔軟に行います。

**当初 10 か所程度**

【参考：サイクルポートの配置イメージ】



（ 総ラック数 約 280 台（予定）  
 総自転車数 約 150 台（予定） ）